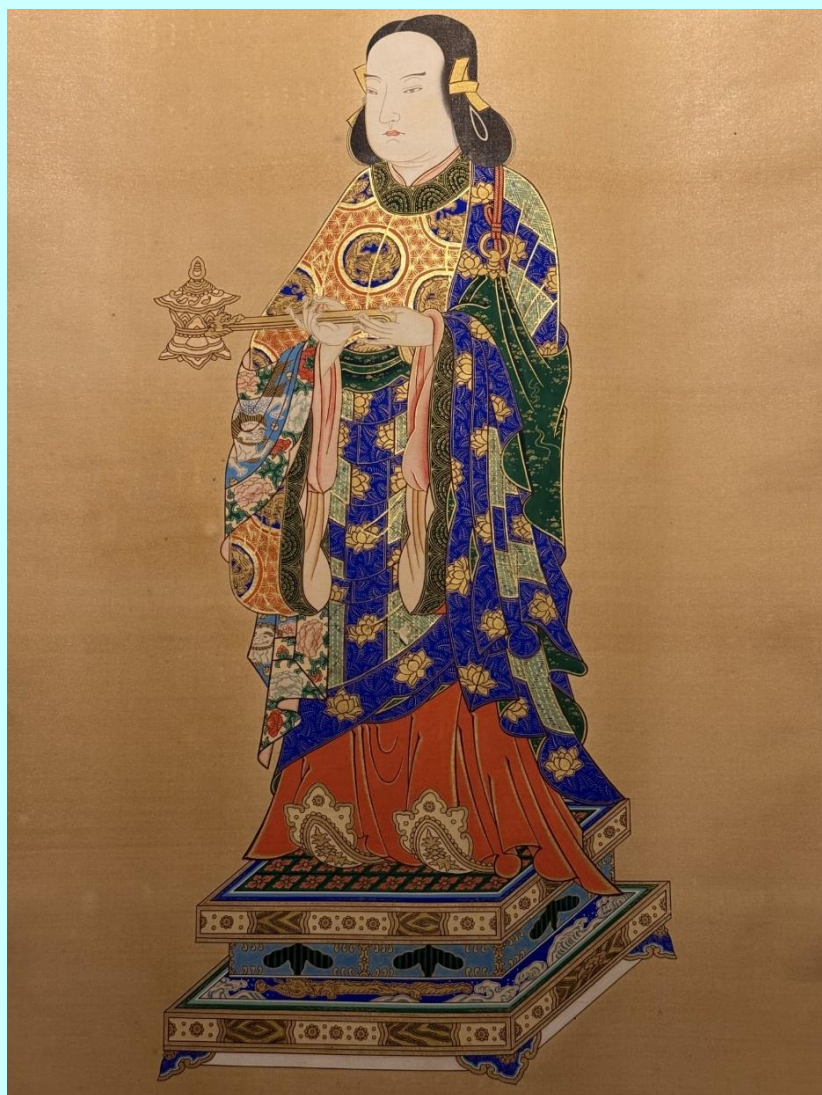


日本仏教の歴史

－ 仏教伝来から国家仏教の形成まで －

日本に仏教が伝来したのは六世紀半ばとされていますが、当時の日本には、「佛(仏)」という概念そのものはありませんでした。そのような状況下で、仏教はどのように受容されたのでしょうか。仏教をめぐる人々の思惑はどのようなものだったのでしょうか。

本講座では、日本仏教史の草創期を取り上げ、仏教が日本社会に根づいていく過程と、その背景を読み解いていきます。



8月28日(金) 10時～11時30分

「仏教の受容と展開」

最初、民間レベルで伝わった仏教が当時の人々や権力者にどう受け止められたかをたどります。

9月25日(金) 10時～11時30分

「聖徳太師の仏教観と国家仏教の形成」

太子が目指した国づくりの理念と、仏教が果たした役割について読み解いていきます。

講師： 貫名 譲 大阪大谷大学教授。龍谷大学非常勤講師。博士(学術)。中国浄土教の歴史的展開と親鸞思想を中心に研究を進めている。著書に『古代インドのアングリマール伝承：歎異抄十三条・漢訳經典・仏伝図像から読み解く』(白須浄眞編、共著)、『親鸞と浄土仏教の基礎的研究』(川添泰信編、共著)など。

会場：芦屋市民センター本館401室 募集：90名 受講料：1,000円(初回に一括支払い)

下記いずれかの方法でお申し込みください。先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。

- 公民館講座ホームページ <https://ashiya-kominkan.com/course/>
ホームページから申込フォームに入れます。自動返信メールが受講案内となっています。
芦屋市の方は、6月1日(月)から受付開始。市外の方は、6月15日(月)から受付開始。



- 往復ハガキ 往信面に ①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号をご記入の上、下記宛にお送りください。
返信ハガキが受講案内となっています。内容をよくご確認ください。